教育センター・育成センター所報

2007年10月号

カラスノエンドウ

GALILEI

新しい教育　柏崎からの発信

インターネット版は
柏崎市教育情報支援システムを検索し，トップ画面の
右上「GALILEI」をクリック
してください。

柏崎市立教育センター
柏崎市青少年育成センター

10月号 CONTENTS

○ **今月の巻頭言**　「新しい教育基本法の理念を柏崎の教育にどう投影させる？！」
新潟産業大学教授　遠藤　元男 …… 1

○ **教育センターたより**

● アクセス（教育研究班・情報教育） …… 2
どうなる？新しい教育課程の行方･支援システムへのテキスト登録･研修講座案内

● プロジェクト Ｋ（科学技術教育班） …… 6
事業報告･火山灰の準備は？･地層観察ポイントを･緊急地震速報システム･10 月予定

● 心の窓（教育相談班） …… 8
我校の教育相談(比角小)･災害の子どもの心のケア･変わっていくことは怖くない

● プラネット（視聴覚ライブラリー） …… 11
便利です！大型長尺プリンタ･アンケートにご協力を･おすすめの教材

○ **青少年育成センター通信** …… 13
10 月の予定･震災後の高校下校育成活動･大人が学ぶ e-ネット安心講座の予告

○ **センター点描** …… 15

○ **所員随想つれづれ** …… 16
「このたびの災害から学んだこと」　学校訪問相談員　赤川三保子
「夢中です」　科学技術教育班嘱託員　吉田美保子
「ノーテレビ･ノーゲームの取組について」　青少年育成センター指導員　斎藤　信

○ **教育センター10 月の予定** …… 19

○ **新聞記事から** …… 20

○ **９月の教育センター利用状況**

若葉抄

○　中越沖地震で被災した家屋の片づけをしましたが，余りにも多い“物”に我ながらあきれています。寝具・衣類，食器・日用品，それに昔の什器など収納スペースを満杯にしていました。これを機会に，使うことはできても使う必要性がないものは勿体ないけれども思い切って処分しました。

○　被災した廃棄物の集積場にゴミの山ができあがり，よくもまあこんなに物があったものだと感心します。一部が破損して使えなくなったとはいえまだ真新しい家電製品や家具類もたくさん見られます。これだけのものを作るのに,一体どれだけの資源とエネルギーを使ったのだろうかと思わず考え込んでしまいます。

○　わたしたちは家庭でも学校や職場でも，余りにも物に恵まれすぎてはいないでしょうか。便利なものがどんどん開発･販売されるので,それを購入すれば確かに生活は迅速・快適・便利になることは間違いありません。しかし，地球の資源やエネルギーの先止まりが見えている現在,これらを浪費することは極力抑制しなければなりません。地震などの災害は物に溢れたすぎた生活を再認識させてくれます。

○　これから百年,二百年先の地球の未来を考えたとき，目先の利益や快適・便利さの追求だけにとらわれることなく，生活のペースを下げて必要最小限の資源・エネルギーの消費に抑えるべきです。地球環境の保全を意図した教育が益々重要になります。（種）

今月の巻頭言

新しい教育基本法の理念を 柏崎の教育にどう投影させる？！

教育センター運営委員
新潟産業大学教授(教職課程)　遠藤元男

◆　教育再生会議を主導した安倍首相が突然退陣し，福田氏が新首相に。所管の文科相も伊吹氏から渡海氏に交替。「①学校･教委の第三者評価制度　②6･3･3･4 制の在り方　③教育バウチャー制　④学校の適正配置など」を盛り込んだ第三次報告が 12 月に提出される運びになっていただけに，教育界の不透明状態が当分続きそう。また，教育再生会議そのものも瓦解･解散するとの一部マスコミの報道もあるので，今後の推移が注目されるところである。

◆　ところで，私はこの「教育再生会議」という字句に，当初から大きな抵抗感･反発心があった。そもそも,再生とは死んだものを蘇生させるというニュアンスではないのか。学校現場や教育行政現場はそれほど死んでいるというのか。従前も現在もそんなことは決してないはず。傲慢･不遜もいいところである。「健全な子どもの育成」「次代の教育の方向」を求めて，学校も行政も懸命に努力しているではないか。学校現場 7 校，教育行政4職域で教育の仕事に携わらせていただいた身として，「再生」の字句はとても容認できるはずはない。今後，新聞，テレビ等から「教育再生」の字句が減少するであろうことが期待され安堵の思い。これで,子どもや保護者に教育への期待感や安心感が再び醸成されるといいのですが ――。

◆　というわけで，教育再生会議そのものにかなりのアレルギー感をもっていた私ではあるが，功罪の功の面も否定してはいないつもり。例えば，第1次報告（19 年1月），第2次報告（19 年6月）で提言された「①ゆとり教育見直し　②教員に社会人の積極的登用　③大学･大学院の4月入学原則弾力化　④学校選択性の導入　⑤徳育の充実」など時代の趨勢や社会の要請･期待に即した内容は評価できるのではないか。

ただ，教員評価を踏まえた教員給与体系への格差導入や学校への実績に応じた予算配分など，徒に学校や教委に競争原理を持ち込むことは非常に危惧を覚えるのですが，現役の皆さんの感想や如何に！？

◆　退陣された安倍前首相には辛口評価ばかりが世間に流布されているが，教育の憲法ともいえる「教育基本法」の戦後 60 年ぶりの改訂は大きな功績といえそうである。特に，「①幼児教育　②家庭教育　③生涯学習理念」などの条文新設は，学校･家庭･地域の役割と分担や人間の生涯にわたる学習の在り方などに大きな方向性を示すことになったものと歓迎したい。

さて,改正教育基本法が第1章で謳う「教育の目的及び理念」を受けて，学校現場や教育行政はどう対応したらいいのか。今後の教育の方向･在り方に対してまさに正念場であり，真価が問われるといわれる所以である。学校や行政の皆さんに期待するや大！

◆　私事で恐縮だが地元産大で教員養成の業務に従事。本学でも少子化社会のあおりで学生確保に四苦八苦。本学では，中学→産附→産大という地元子弟の進路路線の確立を期待し，産附生徒で大学進学希望者は全員本学で受け入れる体制になっています。ぜひ，中学関係者のご理解･ご協力をお願いする次第 ――。

教育研究班だより

アクセス

No.73	平成 19 年 10 月 2 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610

どうなる？　新しい教育課程の行方

マスコミ報道の中で中央教育審議会での検討内容が少しずつ明らかになってきました。
発表された資料を整理してみました。

■　小学校教育

(1) 改善の方向性

○ これまでの教育課程部会や小学校部会の審議においては、小学校教育の改善として以下の方向性が示されている。

・ 発達の段階に応じた教育課程編成

（低学年から中学年）

体験的な理解や反復学習などの繰り返し学習といったエ夫による読み・書き・計算の能力の育成を重視

（中学年から高学年にかけて以降）

体験と理論の往復による概念や方法の獲得、討論一実験・観察による思考や理解の重視

・ 体験活動の重視

・ 小学校生活への適応、基本的な生活習慣の育成、教科等の学習への円滑な移行など幼児教育との円滑な接続

・ 体力低下への対応

(2) 教育内容の改善（基礎的な知識・技能の確実な定着の重視）

○ 基礎的な知識・技能の着実な定着については、実生活との関連やその後の学習の基盤としても重要な事項を重視する。

（具体例）

① 国語の美しい表現やリズムを身に付けるといった観点から小学校における易しい古文や漢文の音読や暗唱を重視、漢字指導の充実（国語）

② 都道府県や世界の主な国々の位置と名称などの確実な習得（社会）

③ 学年間等で反復（スパイラル）する教育課程を構成することによる計算能力などの確実な習得（算数）

④ エネルギー、粒子、生命、地球などの科学の基本的な見方や概念を柱とした教育内容の充実（理科）

○ さらに、特に中学年から高学年にかけて以降は、これらの知識を活用・し、探究型の学習へと発展させる観点が重要である。

（具体例）

① 日常生活に必要とされる技能としての対話、記録、要約、説明、感想などの言語活動を発達の段階に応じ体系的・継続的に指導、読書活動を充実（国語等）

② 言葉や数、式、国、表、グラフなどの相互の関連を理解し、それらを用いて説明・表現する指導の充実（算数）

③ 科学的な思考力・表現力の育成を図る観点から考察・説明・探究を充実するとともに、観察・実験や自然体験、科学的な体験を一層充実（理科）

○ その他

・ 道徳教育の内容・形式両面にわたる充実（小学校では、善悪の判断など基本的な道徳的価値観の形成を重視、集団宿泊活動といった道徳性の育成に資する体験活動を推進）

・ 1・2 年次に配当されている生活科の改善（科学的な見方・考え方の基礎を養う指導の充実等）を行う必要がある。

○ 総合的な学習の時間（3 年生以上）については、必要性・重要性を前提とした上で、教科や道徳、特別活動との関係を見直し、地域の文化や伝統に関する学習活動など小学校段階に応じた学習活動を例示することが必要である。

○ 小学校段階の英語教育については、小学校段階にふさわしい国際理解やコミュニケーションなどの活動を通じて、言葉への自覚を促し，幅広い言語力や国際感覚の基盤を培うことができるよう共通に指導する内容を更に具体的・専門的に検討することが必要である。

■ 中学校教育

(1) 改善の方向性

○ これまでの教育課程部会や中学校部会の審議においては、中学校教育の改善として以下の方向性が示されている。

・ すべての教科等にわたって学習スキル（方法）の確実な習得

・ 国語を基礎としながら、すべての教科等におけるコミュニケーション能力の育成

・ 道徳的価値に関する討論や法に関する学習、キャリア教育などを通した人間としての生き方の指導の充実

・ 教師の相互交流、小学校との間で反復する教育課程の構成など小学校との円滑な接続

(2) 教育内容の改善（知識・技能を活用することで、習得型と探究型の学習とを統合する）

○ このように中学校段階では、基礎的な知識・技能の着実な定着（例えば、外国語の文法指導や習得すべき語彙数の充実等）とともに、これらの知識を活用し、探究型の学習へと発展させる観点を重視する必要がある。

（具体例）

① 日常生活に必要とされる技能としての対話、記録、要約、説明、感想などの言語活動を発達の段階に応じ体系的・継続的に指導、読書活動を充実（国語を基礎として全ての教科等）

② 言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解し、それらを用いて説明・表現する指導の充実（数学）

③ 科学的な思考力・表現力の育成を図る観点から考察・説明・探究を充実するとともに、観察・美浜や自然体験、科学的な体験を一層充実（理科）

○その他

・ 道徳教育の内容・形式両面にわたる充実（中学校では、道徳的価値に関する討論や法に関する学習、キャリア教育などを通した人間としての生き方の指導の重視。職場体験活動といった道徳性の育成に資する体験活動を推進。）、

・ 改正教育基本法の趣旨を踏まえ、社会科において、納税や勤労の義務、世界の各地域における宗教の特色などについての指導の充実を行う必要がある。

○ 絵合的な学習の時間については、必要性・重要性を前提とした上で、教科や道徳、特別活動との関係を見直し、仕事や自己の将来を考える学習活動、義務教育の終了段階での卒業論文など中学校段階に応じた学習活動を例示することが必要である。

○ 選択教科については、選択教科に加え、総合的な学習の時間が導入され、教育課程が複雑化しすぎていることから、必修教科の時間を充実することが適当である。

教育情報支援システム情報

講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名	教材名（リンク）	サムネイル／備考
H19.9.14	ネットワーク提供型コンテンツの活用	ネットワーク提供型コンテンツの活用.pdf	テキスト第4版(H19.09.14)
H19.9.26	Word活用４（指導案の効率的な作成）	Word活用4.pdf	テキスト第1版(H19.09.26)
		例題.zip	講習会で使用する例題文書などを収めたフォルダ（ZIP形式で圧縮してあります）

パソコンワンポイントテキストを登録しました

登録日	ファイル名	内容	対象
H19.9.28	tips074.pdf, tips074.doc	VistaからLANDISKなどのNASにアクセスできない場合の対処手順	Windows Vista
H19.9.28	tips075.pdf, tips075.doc	Vistaでアプリのインストールや実行ができない場合の対処法	Windows Vista
H19.9.28	tips076.pdf, tips076.doc	Vistaのエクスプローラでプレビューペインを表示する	Windows Vista
H19.9.28	tips077.pdf, tips077.doc	Vistaのエクスプローラでフルパスやメニューを表示させる	Windows Vista
H19.9.28	tips078.pdf, tips078.doc	Office2007から旧ファイル形式で保存する	Office2007
H19.9.28	tips079.pdf, tips079.doc	Office2007で作成したドキュメントを、旧Officeで開く	Office2000, Office2002(XP), Office2003
H19.9.28	tips080.pdf, tips080.doc	Office2007の機能を使ってPDFを作成する	Office2007
H19.9.28	tips081.pdf, tips081.doc	Office2007で画像にフレームを付ける	Office2007
H19.9.28	tips082.pdf, tips082.doc	Excel2007で強化された条件付き書式で数値を視覚化する	Excel2007
H19.9.28	tips083.pdf, tips083.doc	Word文書内の画像をファイルとして取り出す方法(Word2007)	Word2007

情報関連研修講座情報

もうすぐ実施される情報関連講座のご案内

◆H19.10.18（木）Excel 活用3（アンケート集計とグラフ、Word との連携）

各種アンケートの集計を効率的に行うコツや、集計結果をグラフにする、Word で結果をまとめるなどの手順を学習します。実施したアンケートの集計作業や分析・報告が大変だと感じたことのある方は、ぜひ受講してみてください。（この講座の内容は、昨年までの Excel 活用3とは異なります。 グラフ作成中心の内容から、アンケート集計中心の内容に変更しています。）

アンケート作成のコツ（集計を意識した選択肢の作り方）
集計用シート作成のコツ（相関関係など、分析のしやすいシートの作り方）
条件を変えて行う多面的な集計、グラフの作成
報告書作成のコツ（シート間の参照、Word との連携）
アンケート集計に役立つ機能と関数（グループ集計、データベース関数：DCOUNT、DCOUNTA、DSUM など）

◆H19.10.19(金) 大型プリンタによる長尺印刷入門

長尺印刷用の大型インクジェットプリンタ(EPSON MAXART)が高柳地区向けに高柳中学校、西山地区向けに西山中学校、柏崎地区向けに教育センターに整備されています。実際に整備されている機種と同じものを使用して、横断幕・看板の印刷やワープロ文書の拡大印刷の手順を学習します。なお、この研修は視聴覚ライブラリとの共催となり、一般市民の参加も受け付けております。ご理解とご協力をお願いします。

■■■ セキュリティ情報 ■■■

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、9 月 12 日付けで 9 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 WindowsUpdate などを実施していただくようお願いします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能を ON にする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS07-051 Windows2000 の重要な更新	Microsoft エージェントの脆弱性により、リモートでコードが実行される (938827)	Windows2000	Win	緊急
2	MS07-053 Windows の重要な更新	Windows Services for UNIX の脆弱性により、特権の昇格が起こる (939778)	Windows2000,XP, 2003Server,Vista Windows Services for UNIX 3.0/3.5	Win	重要
3	MS07-054 MSN Messenger および Windows Live Messenger の重要な更新	MSN Messenger および Windows Live Messenger の脆弱性により、リモートでコードが実行される (942099)	MSN Messenger 6.2 , 7.0 , 7.5 Windows Live Messenger 8.0	Win	重要
4	MS07-052 Visual Studio の重要な更新	Crystal Reports for Visual Studio の脆弱性により、リモートでコードが実行される (941522)	Visual Studio .NET 2002 Visual Studio .NET 2003 Visual Studio 2005	Win	重要

Win は Windows Update または Microsoft Update, Office は Office Update から更新を実行します。
なお, Office が 2002(XP)以降なら Microsoft Update を利用すると, まとめて実行することができます。
注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く, 緊急の対応を要します。

プロジェクト K (科学技術教育班だより)

9月の事業から

○ 槇原小学校天体観察会

本物に触れる感動！
担当の先生の熱意に脱帽です。

◇日　時　　９月１１（火），１２日（水）
◇会　場　　槇原小学校屋上
◇内　容　　夏の大三角形
（こと座のベガ，わし座のアルタイル，はくちょう座のデネブ）
北の夜空（北極星，北斗七星，カシオペア座）
木星
アルビレオ　などの観察

○ 剣野小学校科学クラブ

常温で沸騰する不思議と超低温の事実とのギャップに興味津々…

◇日　時　　９月２８日（金）
◇会　場　　剣野小学校理科室
◇内　容　　液体窒素の実験
・水の沸騰との比較～低温に気づく
・液体窒素の接近による消火
・身近なものを凍らせる
（バラの花，ゴムボール，スーパーボール，バナナで釘，ティッシュは？）
・気体を冷やすと？
（空気，二酸化炭素，酸素，空気中の酸素を取り出す，スポンジの発火）
・液体を冷やすと？
（エタノール，水，コーラなど）
・固体を冷やすと？
（電気回路の導線・電池）
・その他
（エジソン電球，マシュマロしゃぶしゃぶ）

火山灰の準備は大丈夫ですか？

小学校６学年「大地のつくりと変化」、中学校第２分野「大地の変化」の授業に必要な火山灰ですが，授業に適切な教材をどのように準備されていますか？

市内であれば聖ヶ鼻凝灰岩が見た目にも火山噴出物と分かりやすく，またそのマトリックスは各種鉱物の観察に適しています。特に，黒雲母は標本さながらの逸品が観察できます。

教育センター科学技術教育班にも少々，以下の火山灰のストックがあります。お急ぎであれば少量おわけすることが出来ます。また，採集場所のご案内も可能です。授業にご活用ください。

○ 聖ヶ鼻凝灰岩（柏崎市米山町）
○ ＳＫ０３０（十日町市）
○ 金谷凝灰岩（上越市）
○ ローム（小千谷市・上越市）　など

地層観察ポイントの選定にお困りではありませんか？

　柏崎市米山町の聖ヶ鼻灯台に至る道が，中越沖地震の影響により崩落しています。聖ヶ鼻展望台脇の露頭は、典型的な砂岩泥岩互層の観察や礫岩層の観察，微化石（マキヤマチタニイ）の発掘など、学校で地層観察学習を行うにあたり最適といえる場所であり、毎年多くの学校が訪れていました。

　しかしながら、聖ヶ鼻展望台の露頭にたどり着くことができない状況は、来年の春以降も続く見通しです。現在、県が主体となって進められている土砂撤去工事は年明け３月までの予定、新たな崩落を防ぐための法面工事は雪が消える来年４月以降となる予定になっています。

　学習指導要領には、野外観察を必ず行うことになっていますが、観察学習を行う場所の選定等でお困り事はありませんか？観察学習場所のご相談、当日の現地へのご案内など、お手伝いいたします。お気軽にお問い合わせください。

緊急地震速報が始まりました

　１０月１日午前９時より気象庁の緊急地震速報のシステムが一般向けにスタートしました。どこかでＰ波を観測したら、気象庁が震源の位置やマグニチュードを解析し、周辺各地へＳ波が到達するまでの時間や各地の推定震度を速報として知らせるものです。適切に活用すれば、被害を小さく食い止められる可能性を秘めた世界初の試みとして注目を集めています。

　しかし直下型の地震の場合など、Ｐ波とＳ波のタイムラグが少ない場合には対応できないという一面もみられます。

　今後、緊急地震速報の周知徹底と、情報を見た人が速やかに行動できるようになるための意識付けおよび訓練が必要であると同時に、情報の受信環境についても考えをめぐらす必要があります。

　専門の受信装置が市販されており、受信装置がなくてもＮＨＫや一部民放では、テレビやラジオで速報を伝えることになっています。一部の携帯電話会社では、緊急地震速報を瞬時にメールで送信するシステムを開発中です。緊急のメールを自動的に読み上げる機能もつくのでしょうか。また、個人対応ばかりではなく、消防庁の「全国瞬時警報システム」（Ｊ－ＡＬＥＲＴ）を受信し、住民に伝達する仕組みを整備した自治体もあります。

　何かと話題の緊急地震速報を、理科の授業や、防災訓練等にぜひ取り入れてください。

10月の主な予定について

○初任者研修会「理科の指導法について」９日（火）
○北条南小学校「カルメ焼きマスターになろう」１２日（金）
○上越地区セン野外研修会「夢の森公園のきのこ」１５日（月）
○小学校学年別研修会「小学校３年　明かりをつけよう」１６日（火）
○北条南小学校「地層観察会」１７日（水）
○いきいきわくわく科学賞２００７締め切り１９日（金）
○いきいきわくわく科学賞１次審査２３日（火）～２５（木）
○上越地区セン総会２５日（木）
○中越地区主事会２６日（金）～２７（土）
○田尻小学校「地層観察会」３０日（火）
○半田小学校「科学クラブ」３１日（水）

ほか

平成１９年１０月３日

心　の　窓（教育相談班だより）　№９９

柏崎市立教育センター　〒９４５‐０８３３　柏崎市若葉町２番３１号℡（代表）２３－４５９１
（Fax）２３－４６１０

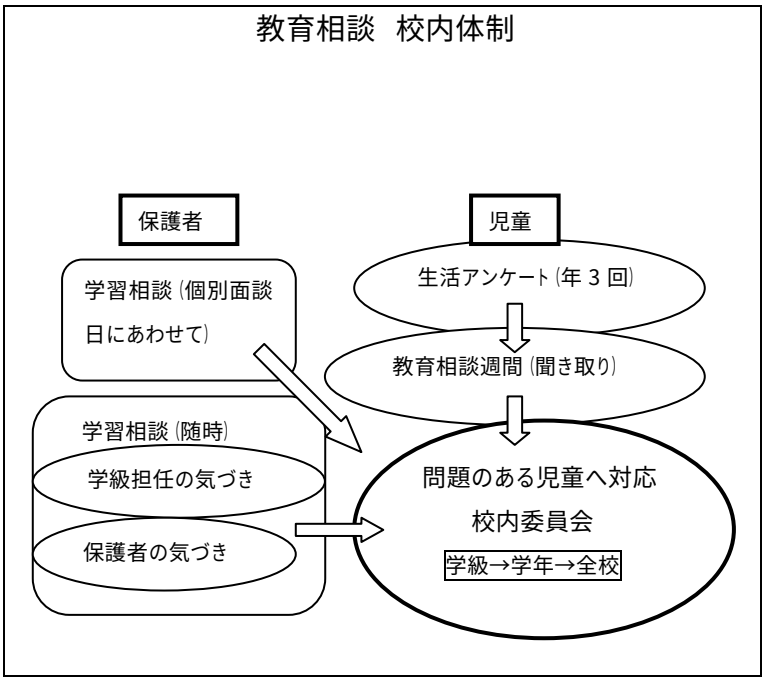
我　が　校　の　教　育　相　談

柏崎市立比角小学校

当校は、現在全校児童 518 名学級数２０学級。素直で快活な児童と共に、教育活動に協力を惜しまない保護者・地域の方々に支えられながら「いのちを大切にし、やりぬく子」の教育目標のもと、日々取り組んでいます。昨今、生活指導上の問題に加えて、特別支援教育の領域に関わって、発達障害があり個別の配慮が必要な児童への対応は、学校全体の大きな課題になっています。校長の示した経営方針の基本的態度でも、「児童一人一人を理解し、その子のもつ個性やよさを生かし伸ばす支援を工夫する」とし、児童の特性に目を向けて教育活動を実施するよう心がけています。

当校では、生活指導部と特別支援部が連携し、共同的に活動を行っています。さらに、今年度から学習相談部が校務分掌に位置づけられました。児童の学習･生活に関することで、保護者や職員の相談を受け付けています。

放課後の時間を利用した学習支援（教科の補充やソーシャルスキルトレーニング）を行う教室を設置し 3 年目に当たりますが、その運営を核にして、便り等で全保護者へ周知するよう努めています。年間約十数件、今年度もすでに数件受けています。また、年 3 回生活アンケートを実施し、児童の状態を把握しています。結果を踏まえて学級担任が児童への聞き取りを行い、対応しています。このような中で、大きな問題が生じた場合、校内委員会を立ち上げ、情報を集約し全校体制で対応を協議するような組織になっています。



今後、情報を的確にキャッチし児童の実態を把握する能力、実態から判断し全校体制で対応できる機能的な組織作りがますます重要になってくると考えられます。学級担任一人が問題を抱えるのではなく、一人の児童を学校全体で支える体制作りが求められます。（文責　山田康子）

～カウンセリングルームから～

『災害後の子どもの心のケアについて』

人間は、本来、困難な状況を乗り越える回復力を持っています。その回復力を引き出す活動が「心のケア」活動です。家庭での関わりや学校教育活動を通じて、子どもの回復力を引き出すことができます。教職員、保護者、地域の人、ボランティア、スクールカウンセラー（臨床心理士）等が力を合わせて、以下のように子どもの心のケアを進めます。

1. 子ども自身が災害後のストレスにも対処することができるという自信が持てるようサポートします。そのために、子ども達にストレスへの対処方法やリラクセーション（**『セルフケア』**）の方法を伝えます。様々なストレス反応は、危機的な出来事に対する当然の反応という知識を、子ども達にわかりやすく伝えます。一方的に伝えるだけでなく、対話による働きかけをします。災害ストレスにあったときの心身の反応と望ましい対処の仕方を学ぶことを**『心理教育』**と呼んでいます。
2. 友だち･教師･保護者･地域の人たちとのよい関わりが、ストレス反応を和らげます。人間は人から守られていると感じるときに安心することができます。強いストレス反応が生じていても、親や教師といった周りの大人が落ち着いて関われば、反応は治まっていきます。**『ひとと人の絆』**が困難を乗り越える最も大きな力になります。
3. 常に「地震がくるぞ！･こわい！」と思い続けると、身体が緊張し続け、それがかえってストレス反応を生みます。余震が続いたりすれば、恐怖は当然の反応ですが、「余震は必ず無くなっていきます」「余震があった時は、こうやって自分の身を守ります（防災訓練）」と、安全と安心のメッセージを送りましょう。出来事に対する**『受けとめ方』**によってストレス反応の現れ方は違ってきます。
4. ストレス対処には、問題に立ち向かう対処（問題焦点型対処）と気持ちについての対処（情動焦点型対処）の2つがあります。「受けとめ方」を変えるには、防災に対する正しい知識が必要です。防災訓練を実施するときには、同時に、気持ちについての対処も考えて下さい。防災訓練に過度に反応する恐れのある子どもには、事前に個別に話し合うことが必要です。また、防災訓練のあとの気持ちについての対処について、落ち着く練習などを実際に行うとよいでしょう。
5. 教職員のみなさん、ご自身の心のケア（バーンアウト）にも留意してください。アルコールが増えすぎるのは、要注意です。災害を乗り越えるために「頑張る」ことは大切です。しかし、いつもいつも全身に力を入れて頑張り続けると、身体がもちません。そこで、「がんばって、休む」といった気持ちの切り替えを身につけることが大切です。　　（　文責：小林東　）

※出典：http://www.edu.hyogo-u.ac.jp/yotomi/index.htm「ストレスマネジメントとトラウマ」
兵庫教育大学・冨永良喜研究室

<u>※教育相談部１０月の予定</u>

＊カウンセリングルーム
・いろいろ体験グループ（小学生 A）10 月１２日（金）１６：００～１７：００（教育センター）
・いろいろ体験グループ（小学生 C）　　１２日（金）１６：３０～１７：３０（教育センター）
・いろいろ体験グループ（小学生 B）　　１９日（金）１６：３０～１７：３０（教育センター）
・いろいろ体験グループ（中学生１）　　２６日（金）１８：３０～２０：００（教育センター）
・いろいろ体験グループ（中学生２）11 月　２日（金）１８：３０～２０：００（教育センター）
＊　ふれあいルーム
　２日（火）～　４日（木）三者面談　　４日（木）　前期通級終了日
　１１日（木）～２４日（水）学校訪問　　１２日（金）　後期通級開始日
　２６日（金）　陶芸教室（１）予定

～ふれあいルームから～

「かわっていくことはこわくない。
ワクワクしたいな。明日の自分に。」（折原みと「かわっていくこと」より）

「さっきまでの自分はもういない。常に新しい自分が今ここにいるんだよ。」そんなメッセージを与えてくれた妙高宿泊体験でのアドベンチャープログラム。活動の最後に行ったシェアリングでは、子どもたちから次のような感想が聞かれました。

- みんなに支えてもらったり、みんなを支えたりしながら、やりとげることができてよかったです。
- 失敗した時に「どんまい！」と声をかけてもらって嬉しかったです。私も人にそう言えるようになりたい。
- 何度も挑戦し出来なかったことが何回も練習してやっと出来た時に、心がひとつになった気がした。
- 力を合わせたり心を合わせたりしながら、みんなで活動できたことが嬉しかった。
- 「人はしっかりとした芯があれば、相手を支えることが出来るし、相手にも支えてもらうことができる。」という、キンちゃん（ＡＰ指導員）の言葉が強く印象に残りました。
- よく自分は「人はひとりでも生きていける。」なんていうことばかり言っていたけど、たまにはこんなのもいいかなと思いました。（日頃の彼を知っている私たちは、この言葉に思わずウルっときてしまいました）

私たち指導員は、このたった 3 時間のプログラムの中で、子どもたちの表情が次第に柔かく笑顔になっていく姿を、自ら声を出していく姿を、自然にまわりの人たちに合わせ心が寄り添っていく姿を、しっかりとこの眼に焼き付けました。改めて一人ひとりの持つ力、可能性、たくましさを感じ、輝いている彼らが眩しくて愛しくて･･･何度も何度も胸が熱くなりました。

人はきっと容易に変わることができるのでしょう。その人が変わろうとする勇気さえあれば。また、その人を支えてくれる人たちがまわりにいてくれたら。今の世の中、大人も子どもも後者を忘れがちなのかもしれません。支えてあげようとする気持ちが、その人に勇気や力を与えるきっかけになっていくのでしょうから。

「新しい自分と出会う瞬間」まさにその時こそが、笑顔や自信につながる時そのものなのだということを、この貴重な体験を通して子どもたちから教えてもらったような気がします。

そして、その姿を通して、私自身も新しい自分と出会い、新たな感動や勇気、元気をもらっていたことに感謝しつつ・・・日々の成長につなげていけたら、と思っています。

（文責　　ふれあいルーム指導員　大島美和）

教育相談班ワンポイント講座　　リフレーミングって？

同じ事象を違う観点から言い直すこと。「エンカウンターで学級が変わる　中学校編３」のエクササイズ「みんなでリフレーミング」を参考にするとよい。ねらいに「自分の短所も見方を変えれば長所であることを知り、自己肯定感を高める。自己肯定感の向上は、人間関係づくりのうえで大切な要素である」と述べられている。適応指導教室で、また不登校の子どもと教師の二人でやるのもよい。

（育てるカウンセリングによる教室課題対応全書「不登校」より）

柏崎市立教育センター
視聴覚ライブラリー通信
H19.10.2　第５号

プラNET

URL　http://kedu.kenet.ed.jp/　から教材検索できます（ｹﾞｽﾄをｸﾘｯｸして「視聴覚教材 DB」を選択）
E-mail　kasikari@coral.ocn.ne.jp　945-0833　柏崎市若葉町 2-31　TEL･FAX　0257-23-1168

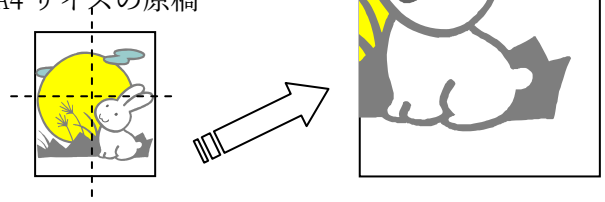
便利です！マックスアート（大型長尺プリンタ）

厳しい残暑も終わり本格的な秋の到来です。秋はいろんな行事が目白押し！学校や園での行事、コミセンなどでの催し物にマックスアートをぜひご利用ください。大型のプリンタで長尺の印刷ができます。横断幕や垂れ幕、立て看板と作成できます。サイズは横断幕の場合縦 610 ミリ、横は任意の長さで調整可能です。

学校以外の利用団体は料金がかかります。（基本サイズ 610×910 ﾐﾘで 1 枚 300 円）ご利用の際は事前に電話にて申込みをお願いします。

こんなこともできる？拡大コピー

A4 サイズの原稿



スキャナで取り込み ポスター印刷（×4 ﾍﾟｰｼﾞ）すると･･･

Ａ１サイズ（610×910 ﾐﾘ）にそれぞれ拡大。**貼り付けると Ａ１×４枚分の大きさに！**

垂れ幕の他にこんな機能も授業や行事に活用できるのではないでしょうか。拡大コピーのは、なるべくデータをお持ちいただくと仕上がりがキレイです。ただし著作権には充分に注意しましょう！！

マックスアート操作講習会受講者募集！

●日　時　　１０月１９日（金）15:00～
●会　場　　教育センター
●定　員　　５名（先着順）
●申込み　　お電話にてお申込み下さい（TEL２３－１１６８）

アンケートにご協力ください

平成 19 年度「新教育映像に関する調査研究事業」に参加します！

ライブラリーでは、全国視聴覚教育連盟が主催する上記事業に参加することになりました。この事業は生涯学習に役立つ市販教育映像として、どのような作品が必要か調査研究を行い作品の質の向上を図ることを目的として実施されています。今回応募した作品は下の２作品です。この作品をいろんな団体でぜひご覧いただき、作品に関するアンケートにご協力をお願いいたします。

	タイトル		分	内　容
1	かんすけさんと不思議な自転車（アニメーション）	VHS DVD	23	自転車やさんのかんすけさんと、自転車に乗りたくて不思議な少年に化けた子だぬきの心あたたまる物語。やさしい心をもつ大切さを問いかけます。
2	昭和３０年代の日本・家族の生活 1　都会の子どもたち編 2　都会のくらし編 3　農村のくらし編	DVD	142 148 133	敗戦の混乱から這い出したばかりの日本。当時の父母・子どもの毎日はどんなだった？ニュース映像から振り返り、短編映画で当時の生活を紹介します。３巻には柏崎市中田の現在も紹介されています！！

教材は入荷済みで**貸出可能**です！！ご予約はお電話でどうぞ！！

今月のおすすめ教材

ご利用の参考にどうぞ

	管理番号	タイトル	分
小学校理科	V02-030	小学校理科シリーズ「月と星の動き」	13
	V02-031	小学校理科シリーズ「星座のかんさつ」秋と冬の星座	12
	V02-039	小学校理科シリーズ「大地のつくりと変化（１）」	14
	V02-040	小学校理科シリーズ「大地のつくりと変化（２）」	14
	V04-008	地震はなぜ起こる？－地震のなぞを探ってみよう－	17
	V04-017	土地のつくり①　土地のつくりとでき方	15
	V04-018	土地のつくり②　火山のはたらきと岩石	15
小学校社会	V06-006	炎の証言－戦争と子どもたち－	25
	V06-015	明治（２）国際社会への道	20
	V06-017	昭和（１）戦争と国民生活	20
	V06-018	昭和（２）混乱から復興へ	20
	V06-021	戦後５０年の歩み	20
	V06-037	明日への伝言－語りつぐもの－	26
	V06-045	学習アニメーション　原爆ドーム物語	15
	V08-083	自動車工場をたんけんしよう！	15
	V08-085	工業地域といろいろな工業	15
小学校保健	V09-088	歯を丈夫にきれいに№２　プラーク・食べかす・ブラッシング	14
	V09-090	歯を丈夫にきれいに№３　小学生のためのブラッシング〈発育段階にあわせて〉	30
環境教育	V018-001	ようこそエコロ島（アニメーション）	17
	V018-002	環境教育シリーズ　生まれ変わるアルミかん　小学生向け	13
	V15-074	家庭の中の３Ｒ　Ｒｅ－Ｓｔｙｌｅで創る循環型社会	16
	V15-096	中学生のゴミ体験～リサイクルへの第一歩～　中学生向け	22
	V18-050	ＭＯＴＴＡＩＮＡＩで地球を守ろう１　地球規模で考える環境	15
一　　般	V23-011	林家木久蔵師匠の高齢者交通安全物語	20
アニメーション	V40-059	１０ぴきのかえる　故郷のひょうたん沼目指して冒険の旅に出発！	20
	040-139	ドナルドダックと魔法使い（16 ミリ）	10
	040-127	森のはずれシャックリのぼうけん（16 ミリ）	24
	040-161	お月様とうさぎ（16 ミリ）	10

教育センターコンテンツサーバで教材目録（PDF）を閲覧できます。

日本むかしばなし

管理番号	タイトル	分	種類
040-141	おむすびころりん	10	16F
040-012	わらしべ長者（人形劇）	18	16F
040-024	一休さん	11	16F
040-028	天狗の羽うちわ	11	16F
040-023	力太郎	11	16F
D40-003	日本名作童話シリーズ　１巻 ・うらしま太郎・つるのおんがえし ・一休さん　・かぐやひめ	各15	DVD
D40-004	日本名作童話シリーズ　２巻 ・もも太郎　・かさじぞう ・ゆきおんな・はなさかじいさん	各15	DVD

時代劇あります！

町内会や老人会、お茶を飲みながらゆっくり映画鑑賞などいかがですか？

「泥棒と殿様」（ビデオ 30 分）
若殿と泥棒の身分を越えた友情を描く山本周五郎原作時代劇

「日本一短い母への手紙」
（１６ﾐﾘﾌｨﾙﾑ 32 分）
11 編の作品を音楽と**アニメ**で描きます。

～教材についてのお問い合わせ　23-1168　視聴覚ライブラリーへどうぞ！～

育成センター通信	0710	柏崎市青少年育成センター 〒945-0833 柏崎市若葉町２番31号 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

10 月の予定

日	曜	ことがら	日	曜	ことがら
10	水	夜間育成活動	31	水	県指導員等研修会
11	木	県青少年育成活動活性化説明会	31	水	市安全安心まちづくり大会
13	土	**小・中・高 PTA 育成活動は延期**	31	水	市内中高生徒指導連絡協議会
22	月	昼間育成活動			

9 月、震災後の高校下校育成活動

○ 高校生は緊張した面持ちで、足早に柏崎駅から駐輪場や上越方面代行バス乗り場へと家路に向かう。駅舎周辺での高校生の群がりもない震災後の状況である。

○ 駅前交番の補助員からお聞きしました。「駅前でたむろする青少年は、バスの代行運転のせいか、非常に少ない。自転車の盗難が多い。小・中・高等学校で自転車にカギをかけるように指導してほしい。自転車を駐輪するマナーも悪い。駅の敷地は市の管轄なので撤去できない。市と相談して駐輪マナーがよくなるようにしてほしい。」とのことでした。

●<u>このことについて、市維持管理課に連絡しました。</u>

○ 柏崎駅前で座り込んでいた女子高生が一人いたので、声をかけて動いてもらった他は、特記すべき事項なし。

○ 連日の育成活動の成果でしょうか、生徒のマナーがよくなったように感じた。ジベタリアンも全く無く、ホームで電車を待つ様子は、とても良いと思った。ただし、服装は暑いせいでしょうか良いとは言えなかった。

○ 今日(9 月 13 日)から越後線が開通した。駅の中にはジベタリアンが一人もいなかった。ホームに高校生がたくさんいたが、問題はない。改札口で高校生に声をかけると挨拶を返した。駐輪場では一部の高校生のマナーが悪いと聞いた。駅前公園には仮設住宅があるが、その公園のベンチで高校生が抱きあっていたそうだ。駅南では、その地区の中学校に通う中学生男子数人が気持ち良い挨拶をした。駅前には服装の乱れた三人の青少年がいたが、警察も気をつけて見ているとのことだった。

○ 柏崎駅でおにぎりを食べている女子高生が三人いた。これから安田でアルバイトをするとのことである。越後線の階段に座っている男女高校生にベンチに座るように言ったが、聞き入れてくれなかった。

○ 駅裏地下道で、自転車通路の坂道を降りる時、ベビーカーを押している若い母親二人に会った。いかにも危ない。地下道に車椅子用のエレベーターが必要である。

●<u>このことについて、市維持管理課に連絡しました。</u>

○　「駅前公園の滑り台、柵の間隔が広すぎて子どもが落ちそうだ。」と母親からの訴えがあった。

●このことについて、市維持管理課に連絡しました。

◎　高校生の下校育成活動は、10 月 1 日～31 日も実施することにしました。

「大人が学ぶ e-ネット安心講座」　開催のお知らせ

日常生活において、子どもにインターネットや携帯電話を安心･安全に利用させるにはどうしたらよいか？　トラブルをどう避ければよいか？･･･などの基本的な知識を身につけ、大人が子どものお手本になれるような研修会です。

換言すれば、子どもを取り巻くネット利用の影の実態に大人が気づき、予防と対策を学び、実践することを強く意識する勉強会です。

対象は、育成委員･保護者･教職員･その他児童･生徒を保護･教育･指導する者全ての大人です。

題して「大人が学ぶ e-ネット安心講座」

後日、詳細についてお知らせします。

昼間の育成活動から

○　リニューアルした○○堂に入店した。店長に「早めに切り上げてください。」と言われた。商売とはいえ、ここは私たちにとってため息の止まらない場所です。となりには洋服店がある。子どもと一緒に洋服店に行った時に、となりにある○○堂に入りたいと言い出したらいやだな。

○　海岸には○○高校のカップルが一組いた。中越沖地震による海岸道路のひび割れのひどさに驚いた。

○　ゲームセンター○○は、時間が早いせいか平和だった。店長代理は「何も問題が無いようだ。」と言っていた。

○　このところ有害広告ビラが電柱に貼ってあるとの情報を得ていたので、市街地の電柱にビラがないか気をつけて街頭育成活動をしたが、ビラらしいものは無かった。

●　9 月中旬、ピンクビラ 35 枚撤去。場所によっては貼ってある。

所内情報

センター点描

やったぞ！　妙高宿泊体験教室　ふれあいルーム

９月 11 日と 12 日の２日間，ふれあいルームでは国立妙高青少年自然の家で宿泊体験活動を行いました。今年は 11 人もの多くの子どもたちが参加し,天候にも恵まれて仲間と触れ合う楽しい活動を行いました。特に,アドベンチャープログラムでは仲間と協力して行動する大切さと，その中でも自分が主体的に行動する意思を持つ必要があることを体験を通して学び，極めて意義の大きい体験教室でした。

どうしてもみんなの力を合わせなくては取れない「元気の球取りゲーム」

自然の家の浅山　景所員(前の当センター科学班の研究員)がカメラを持ち，
浅山所員「妙高青少年自然の？」
全員「イエーィ！」　パチリ！

最初はみんなの中になじんでいけるか不安だったけど,一緒に力を合わせて心をとりに行ったり，ロープを全員で支えあいながら進んで行ったりするうちに，少しずつ元の自分が出していけたような気がします。２日間みんなと過ごしてふれあいルームはいいところだなと感じました。

この２日間を通して新しい自分が分かりました。今までと違った自分になれていたと思います。あの時のみんなはとても輝いていました。とっても楽しくていい体験になりました。仲間と協力し合うやさしい心をいつまでも持ち続けたいです。

教科書センター復旧

中越沖地震で倒れた書棚を片付け，転倒防止の補強材を打ち付けて教科書を整理した教科書センター

教育センター運営委員変更のお知らせ

教育センターの運営委員としてお難儀いただいた刈羽村の小黒　寛様がこのほど退任しました。センター運営にご指導をいただき感謝いたします。

９月１日付けをもって同じく刈羽村の佐藤正樹様（刈羽村社会教育委員長）が委嘱されました。お世話になりますのでよろしくお願いいたします。

この度の災害から学んだこと

学校訪問相談員　　赤川 三保子

この度の中越沖地震は、突如として柏崎市をおそい大きな被害をもたらしました。しかし、今回は３年前の水害の時や中越地震の時と大きく違ったところがありました。それは私たちの地区に自主防災組織ができていたことでした。

昨年度始めに立ち上げ年間何回も話し合いをし、練り上げてきました。私もたまたま健康推進員として組織の一員でしたので、会に出席させて頂きました。今年度は私は推進員の役目を終了し防災組織からもはずれたのですが、たまたま主人が入ることになりました。春に１回目の会議をやり、より具体化していこうとしていた矢先のできごとでした。

大きな揺れが治まって外へ飛び出した直後に自主防災の長である町内会長さんの声で一斉放送が流れました。「落ち着いて行動するように」と「避難所に避難してください。」というものでした。組織のメンバーも迅速に動き村人の人員確認や支援に回りました。

３年前の水害の時、私どもの地区が孤立し連絡が取れず不安な一夜を過ごしたときとは比べものにならない安心感がありました。組織の力と大切さを実感したことが１つ目の学びでした。

２つ目に学んだことは、ボランティア活動を通しての人々との心のふれあいでした。

我が地区もかなりの被害はあったのですが幸いライフラインが無事だったこともあり、避難所の開設は１０日間でした。私はそのうちの７日間夕食のお手伝いをさせて頂きました。みそ汁やキュウリもみなどのちょっとしたおかずをつくり配膳・後始末をやるのですが、この中で多くの方との会話から心が和んだり勇気をもらったりしました。

こんなことがありました。夕食のお手伝いをしている時に、あるお母さんから「お宅の息子さん感心ね。いつもゴミ捨てをして。よく会うんですよ。」とお褒めの言葉を頂きました。我が家では当たり前のことと思っていたのですが。

また、最後の３日間は避難者も数名に減り夕食時のボランティアは私一人だったこともあり年輩（女性）の皆さんのお話を聞く時間がもてました。その中の一人は、我が家で生まれ育ち家を出ていった雌ネコ（まだら）を飼ってくれている家のお母さんでした。とてもおりこうさんのネコであると褒めて頂き嬉しく思いました。そこのご主人はネコがかわいそうで避難所には泊まりに来ないということでした。そこまでかわいがられて幸せです。

また、一番高齢の女性の方からはこの度の我が家の災難の時にお見舞いのお手紙と品物をいただきました。その手紙を読んで大変心を打たれました。「昔の人は言いました。半途の別れは火事よりつらいと。家族全員の方が無事に救われました。何よりと存じます。皆で力を合わせて今後の生活を頑張って下さい。少々ですけれど何かのお役にたてればと入れました。老よりの小さな気持ちです。どうぞお体を大切に。（一部略）」

こちらで励ましていたつもりが実は励まされていたんだなあということを強く感じる今日この頃です。

夢中です

科学技術教育班
嘱託員　吉田美保子

小6の娘は小2の時ハリーポッターに出会い、読書の魅力にはまりました。本の世界は楽しいらしく、手伝いを頼んでも空返事、動いたかと思えば、片手には本。友だちに誘われても遊びに行かず、お風呂に入る時間、寝る時間もないというほど夢中に読んでいます。本の世界がこんなに楽しく夢中になるものと気づかずにいた私は娘の姿をひきこもり？と心配したのですが、ついに、この気持ちがわかる日が来たのです。

先日娘の誕生日プレゼントに叔父が本（正直にいいます。マンガ本です。）をセットでくれました。つい最近まで放送していたドラマの原作本。私はそれほどというか、全く興味がなく、どうせなら、字ばかりの読む本をくれればいいのに、と思った位でした。しかし、娘が楽しそうに読み、笑い、話してくれる様子を見て、どれどれ‥と読み始めたら、なんとバッチリはまってしまったのです。つぎがどんどん読みたくなり、他の事（ご飯の用意や片付け）など時間を忘れるくらい引き込まれました。ですが、マンガと言うものを今までほとんど読んだ事がない私は、読み方が分からず、「このページの真中にある言葉はいつ読むの？」と娘に聞く始末。娘は親切？に、「マンガはね、右上から逆ゼットみたいに読むのが基本なの。だからこれは、このセリフのあと。」そうなんだぁ。納得。と必死に読みました。全巻読み終えた朝、「おはよう。お母さん終わった？がんばったねぇ。」とお褒めの言葉もいただきました。

小さな時から、あまり読書をすることなく育った私。環境がなかったわけでもなく、本が嫌いと言うわけでもなかったのに、何で今まで本の世界を知らなかったんだろうと残念でなりません。本を読むより、ビーズや刺繍など物を作ったり、体を動かしている時間が多かったからかな。嫌な事があると、ヘトヘトになるまで走ったり、鉄棒でぐるぐる回ったりして乗り越えて来ました。さすがに今は走ることのほうが体に悪いようで、ストレス発散するには何がいいか探していたのですが、これからはどっぷり本の世界へのめり込み、いろんな違う世界を楽しんで、現実をすっきり過ごせたらと思います。いい方法見つけた！

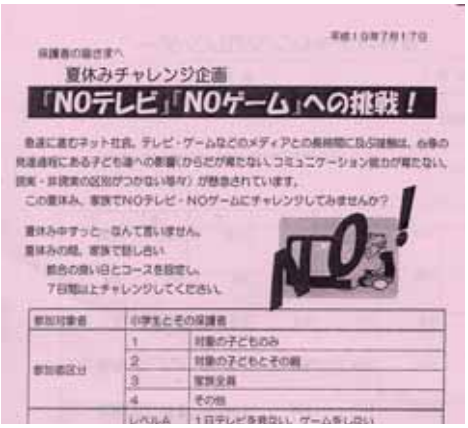
初めて本を読んで、楽しい世界を味わえたのは、マンガだったから？（マンガでの世界に夢中になっている自分がいます。何度読んでも新しい発見があり、楽しいです。）ストーリーに惹かれたのか？（ちょっと陸上競技ストーリー。）ドラマの影響だったのか？それは‥‥です。ただ、末の娘に「またぁ。イケメンばっかり見てないでぇ！」と言われないようにしなくては。

娘に薦められ新しい本（今度は小説です）を読み始めました。これまた陸上ストーリーではまりそうです。3巻読み終えるまでまた楽しい時間を過ごせると思うとワクワクです。

ノーテレビ・ノーゲームの取組について

青少年育成センター
指導員　　斎藤　信

一時、子どもの学力低下が問題になっていました。(現在も、かも知れないのですが。) マスコミで多く取り上げられたからです。この学力低下問題は、教育関係者だけの問題だけではなく、親も関わる課題ではないかと前から思っていました。



平成19年7月17日

保護者の皆さまへ

夏休みチャレンジ企画

「NOテレビ」「NOゲーム」への挑戦！

急速に進むネット社会、テレビ・ゲームなどのメディアとの長時間に及ぶ接触は、心身の発達過程にある子ども達への悪影響（からだが育たない、コミュニケーション能力が育たない、読み・非読みの区別がつかない等々）が懸念されています。

この夏休み、家族でNOテレビ・NOゲームにチャレンジしてみませんか？

夏休み中ずっと…なんて言いません。
夏休みの間、家族で話し合い
　総合の使い日とコースを設定し、
　7日間以上チャレンジしてください。

NOs!

参加対象者	小学生とその保護者	
参加者区分	1	対象の子どものみ
	2	対象の子どもとその親
	3	家族全員
	4	その他
	レベル	1日テレビを見ない、ゲームをしない

中越沖地震の前に、関わっている仕事に「ノーテレビ・ノーゲームの夏休みの挑戦」がありました。チラシを作り、各市内小学校と刈羽小学校に配布するまでになっていました。しかし、残念ながら、あの中越沖地震でこの取組は急遽取りやめになりました。それでも一部の小学校に地震前に配布し、取り組んでいただいたところもありました。

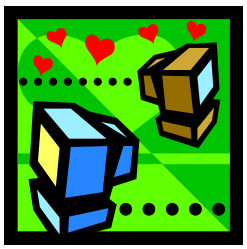
ただいま集計中です。そんな中、集計しながら、新聞の本の書評にある公式が目にとまりました。それは

(勉強の成果) ＝ (教材の質) × (集中力) × (勉強の時間)^2＋ (過去の勉強の蓄積) という公式です。

この公式からすると、(教材の質)、(過去の勉強の蓄積)　という要素は、小･中学校では大きな差はないといっても過言ではないでしょう。やはり集中力そして時間は２乗の意味を持つということが、大きな差になるのではないかと思っています。昔から「時は金なり」といわれているように時間が大切なのです。そこで、勉強時間を捻出するには、子どもにとってはテレビやゲームを見ない･しないことに尽きるそうです。

話は戻りますが、ノーテレビ･ノーゲームの夏休みチャレンジカレンダーには保護者の感想を書く欄があります。そこに『テレビ･ゲームをするのは「習慣」なのだから、その「習慣化」が大切。』と書かれてありました。また、『次回は子どもばかりでなく、親子で取り組みたい。』というのもありました。

このノーテレビ･ノーゲームは子どもばかりでなく、親子での取組こそ成果か上がると期待されます。いっしょに活動してこそ感想があり、やり遂げてこそ、感動があるのだと思います。今後の親子でのノーテレビ･ノーゲームの取組に期待します。



「災害で壊れないものは」　柏新時報　平成 19 年9月 28 日

災害で壊れないものは

柏崎小学校で、「子どもの心についての講演会」が開催された。

柏崎小校区は、地震の被害が最も大きかったところで、同校体育館は避難者で「満員」となり、避難所のシンボルともなった。

地震後の子どもの心の変化は、学校も保護者も同様に心配していることであり、専門家である市立教育センターの小林東教育相談係長（臨床心理士）の講演を聞いたものだ。

小林さんは、地震直後から心のケアに関わり、子どもたちの表情を見てきただけに、2か月後の変化を心配していたそうだが、「子どもたちは授業に集中しており、胸をなで下ろした。元気な様子に勇気を与えてもらった気もする」との感想を抱いたそうだ。

しかし、楽観はしていられない。小林さんは、地震後の相談現場で、様々な子どもの急性ストレス反応を見たという。

「身体反応としては、食欲不振、はきっぽいという症状が多く出た。この場合は、心のケアと並行して、かかりつけの小児科で整腸剤を出してもらうケースもあった。感情反応としては、怒りやすかったり、泣きやすかったりと、喜怒哀楽が以前より激しくなった」

「感情がむき出しになってしまうということだ。自分が悪い子だったために地震が起こったのではと、自分を責めている子もいた。また、5年生が赤ちゃん帰りするなどの退行現象が見られた。ミャアミャア言葉を話すんです」

これらの現象は、地震という異常事態を吸収するためにとっている正常な反応であり、「普通は1か月、長くて3か月で元に戻るが、PTSD（心的外傷後ストレス症候群）に移行する場合もあるので、注意をしなければならない」とした。

小林さんは「こういう時だからこそ、大人、保護者はしっかりと子どもに向き合わなければならない」と強調する。

「子どもの心は不安定になりやすい。大人が自信を持って生きているか、行動しているかということを、子どもは関心を持って見ている。隣の家の方が（解体、修復が）早いとか、遅いとか、違いを比較してはだめ。人は人、自分は自分。あせらず、がんばりすぎず―をモットーにやればいいんです」

「子どもの心はまだ緊張状態にある。家族の力で、心や体をほぐしてほしい。家族で手のひらもみというのはどうか。家庭はコミュニケーションとスキンシップの場であるということを再認識してほしい。子どもがテレビやゲームに没頭するのは禁物」としていた。

小林さんの「災害で壊れないものは、人と人の絆だった。このことを中越沖地震という災害は教えてくれた」という言葉が印象に残った。

「手のひらもみ」を実演する小林さん（13日、柏崎小）

平成１９年度　　**１０月の予定表**

柏崎市立教育センター

日	曜	研 修 ・センター行事・会 議	学 校 訪 問	出 張 ・ その他関係事業
1	月	所内会議　13：00～		
2	火		半田小学校訪問（赤）15：30～	
3	水			
4	木	ふ・前期終了	枇杷島小学校訪問（赤）15：30～ 剣野小学校訪問（滝）15：30～	ガリレイ１０月号発行
5	金			
6	土			
7	日			
8	月			
9	火	研・国際理解講座「英会話実践講座１」15：00～ 科・理科初任者研修　14:00～16:30		
10	水	研・総合・国際理解講座「英会話実践講座２」15：00～ 研・学校事務講座「事務職員のための組織マネジメント」14：00～16：30		湯沢町ＰＴＡ講演（小林） ＊日吉小学校職員研修（多目的研修室）9：00～14：30
11	木	研・学校栄養職員講座「学校栄養職員のための授業の進め方」15：00～ ふ・ふれあいルーム学校訪問（三中・西山中・二中・鏡が沖中）	槙原小学校訪問（赤）15：30～ 鯨波小学校訪問（滝）15：30～	いなほの会学習会（小林：教育相談室）
12	金	研・環境教育講座「環境教育実践プログラム」（夢の森公園）15：00～　ふ・後期開始　科・要請：北条南小クラブ 相・いろいろ体験グループ（小A／Cグループ）16：00～		情報プラン作成会議　（第一研修室）15：00～ 出・視聴覚ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ職員研修会（上越市：赤澤） ＊柏崎刈羽養護教員会研修（多目的研修室）14：30～
13	土			
14	日			
15	月	ふ・学校訪問（瑞穂中・北条中）		校内検討会（小林：北条南・二中） 出・上越地区セン野外研修（植木）
16	火	科・理科講座「小学校３学年　明かりをつけよう」15：00～ ふ・学校訪問（一中・田尻小）	米山小学校訪問（滝）15：30～	＊柏刈教頭会（多目的・相談室ほか）14：00～
17	水	研・算数数学講座「算数数学教材研究Ⅳ」15：00～ ふ・学校訪問（南中）		出・ＳＣ連絡協議会（小林：県セン）
18	木	研・国語講座「刈羽小学校研究発表会」（刈羽小）13：30～16：50 情・校務の情報化研修「Excel活用３（アンケート集計とグラフ、Wordtとの連携）」15：00～ ふ・学校訪問（東中）	荒浜小学校訪問（赤）15：30～	出・精神医療センター（小林）13：00～
19	金	研・特別活動講座「北条中学校研究発表会」12：50～16：50 情ラ・校務の情報化研修「大型プリンタによる長尺印刷入門」15：00～ 相・いろいろ体験グループ（小Bグループ）16：30～		
20	土			
21	日			
22	月		田尻小学校訪問（滝）15：30～	
23	火		日吉小学校訪問（赤）15：30～ 上米山小学校訪問（滝）15：30～	出・いきわく1次審査（植木）
24	水	研・道徳教育講座「西山中学校研究発表会」（西山中学校）14：00～16：35		出・いきわく1次審査（植木）
25	木	研・学校保健講座「AIDSと性感染症」（第五中学校）15：00～	新道小学校訪問（赤）15：30～ 大洲小学校訪問（滝）15：30～	
26	金	ふ・陶芸教室① 相・いろいろ体験グループ（中学①グループ）18：30～		
27	土			
28	日			
29	月		田尻小学校訪問（中野）PM	10月定例教育委員会（種岡・内山）13：30～
30	火		中通小学校訪問（赤）15：30～ 南鯖石小学校訪問（滝）15：30～	第一中学校初任研指導（中野）PM
31	水	研・生活化講座「柏崎小学校研究発表会」（柏崎小学校）13：00～ 科・要請・半田小クラブ		＊平成19年度柏刈小・中生活指導連絡協議会（多目的研修室）9：00～17：00

☆今月の催し★

研＝教育研究班　　科＝科学技術教育班　　ラ＝視聴覚ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ　　相＝教育相談班

ふ　＝　ふれあいルーム　　訪　＝　学校訪問　　出　＝　出張

（滝）　＝　滝澤学校訪問相談員　　（赤）　＝　赤川学校訪問相談員

＊　＝　センター施設貸し出し

１１　月

1	木		
2	金	相・いろいろ体験グループ（中学②グループ）18：30～	
3	土		
4	日		
5	月		

☆１１月の催し★

参加をお待ちしております！！

教育センター事業の参加・利用状況（９月）

	研修講座・事業名		９月の利用数	９月末までの利用合計数	１８年度の利用合計数
教育研究班	専門研修講座　＊		5回	19回	56回
			150人	437人	1,810人
	学校の要請研修会		0回	0回	5回
			0人	0人	25人
	調査研究員会,教科研修員会		1回	5回	10回
			1人	31人	40人
	教育情報化研修講座　＊		4回	22回	41回
			8人	155人	529人
	情報教育主事の要請支援等		8回	50回	98回
			55人	522人	865人
	その他の相談・利用・参加数		3回	18回	38回
			4人	27人	67人
	教科書センター利用閲覧数		1人	196人	413人
科学技術教育班	理科研修講座　＊		1回	10回	12回
			6人	97人	173人
	学校等の要請研修		3回	10回	15回
			117人	454人	365人
	地域の自然研修・観察会		0回	6回	9回
			0人	236人	586人
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		0人	3050人	10,140人
	理科教育の相談・支援		19件	187件	289件
	理科教材・物品の貸出		21件	71件	147件
	(教職員研修の合計)		16人	285人	799人
教育相談班	カウンセリングルーム来室相談	新規	33件	127件	209件
		継続	73件	253件	645件
	学校訪問相談		13回	63回	140回
	家庭訪問相談		3回	13回	118回
			1人	4人	38人
	電話相談		5件	11件	40件
	ソーシャルスキルトレーニング		5回	17回	32回
			26人	87人	187人
	ふれあいルーム通級人数	小学生	2人	9人	12人
		中学生	17人	75人	199人
	ふれあいルーム通級日数		18日	89日	193日
	同上　学校復帰数(部分復帰を含む)		0人	9人	17人
視聴覚ライブラリー	16ミリフィルムの貸し出し		0本	41本	166本
	ビデオテープ・ＤＶＤの貸し出し		14本	160本	506本
	視聴覚機材の貸し出し		20台	311台	619台
	編集,借用,相談等の来室者		55人	369人	1,160人
	機器操作研修会		1人	16人	38人
	親子映写会・児童クラブ映写会		0人	100人	0人
教育団体，ＰＴＡ，市民等の利用			220人	2313人	3,304人
教育センターにおける教職員研修講座（＊印の合計）			10回	51回	109回
			164人	689人	2,512人
教育センター事業の参加・利用総数			**864**	**9,420**	**22,809**

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ，分析と統合との経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

これまで，新しい教育を創り出す私たちにも，ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる検証と気概が必要であるという趣旨から，「がりれお」を発行してきました。この精神を引き継ぎ，平成 17 年度から「GALILEI」という名称で，教育・育成センターの情報を広く皆様に発信しています。

945-0833　新潟県柏崎市若葉町 2―31

柏崎市立教育センター

TEL　0257-23-4591
FAX　0257-23-4610

柏崎市青少年育成センター

TEL　0257-20-7601
FAX　0257-23-4610